

2016 年 1 月 28 日

富士ゼロックスの高速デジタルカラー複合機 4 機種が 省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を受賞 業界最多、13 回目の省エネ大賞受賞

富士フィルムグループの富士ゼロックス株式会社(本社:東京都港区、社長: 栗原 博)の、オフィス向けフルカラーデジタル複合機「ApeosPort-V シリーズ」2 機種^{*1} および「DocuCentre-V シリーズ」2 機種^{*2} の計 4 機種が、「国際エネルギースタープログラム」で定められた消費電力の基準値に対し約 30%におさえながら、利便性も両立した商品であることが評価され、一般財団法人「省エネルギーセンター」主催・経済産業省後援の平成 27 年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門)において「省エネルギーセンター会長賞」を受賞いたしました。

当社が省エネ大賞を受賞した回数は今回で 13 回目となり、業界最多です。

■受賞商品の特長

受賞商品 4 機種は、従来 高速領域^{*3} のカラー複合機で重視されてきた高画質化だけでなく、省エネ性・利便性を両立し、環境負荷を低減するとともにお客様により使い勝手の良い商品を実現しました。具体的には、お客様の使用意図を検出してスリープ状態から自動で複合機を起動させる「[Smart WelcomEyes Advance 2](#)」技術^{*4} を搭載、スリープ復帰時間を短縮する [IH 定着技術](#)との組み合わせで起動の待ち時間を大幅に短縮したほか、静音性も実現する [LED プリントヘッド](#)の搭載、転写電圧を自動で最適値に調整する技術など、独自の技術を組み合わせることにより「国際エネルギースタープログラム」で定められた TEC 値^{*5} の基準値に対し約 30%に消費電力をおさえました。

■富士ゼロックスの省エネ商品開発の取り組み

当社は「[RealGreen](#)」というコンセプトを掲げ、省エネによる地球環境負荷低減と、快適性や利便性などの価値とを両立することを目指して技術や商品の開発に取り組んでおり、この考え方に基づいて開発した商品が [2013 年に「省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞」を受賞](#)しております。

今回受賞した 4 機種も、「RealGreen」のコンセプトに基づき、「省エネ」と「使いやすさ」の両立を実現した商品です。当社は今後も、技術開発や商品提供を通じて地球環境負荷低減に貢献するとともに、お客様にとって使いやすい商品を提供してまいります。

*1 ApeosPort-V C7776/C6676 PFS-PC

*2 DocuCentre-V C7776/C6676 PFS-PC

*3 A4 ヨコ/B4 ヨコ、連続出力 65~70 枚/分

*4 Smart WelcomEyes Advance 2: 複合機に搭載したカメラで、複合機に近づくお客様のつま先の向きを検知することで、お客様が複合機を利用するときのみ起動させる技術。

*5 プリンターや複写機などのオフィス機器における「概念的 1 週間(稼働とスリープ/オフが繰り返される 5 日間+スリープ/オフ状態の 2 日間)」の消費電力量

・Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

・プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。